



平成 27 年 4 月 28 日

各位

会社名 株式会社 フェイス
代表者名 代表取締役社長 平澤 創
(コード番号 4295 東証第一部)
問合せ先 取締役最高財務責任者 佐伯 次郎
T E L (03) 5464-7633 (代表)

特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は下記の通り、特別損失の計上を行うこととし、あわせて平成 26 年 10 月 28 日に公表した連結業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社の連結子会社である日本コロムビア株式会社および株式会社オーケーライフにおいて、取得時に想定した計画に比べ利益の計上が遅れていることから、当社連結財務諸表に計上しておりましたのれんについて減損処理の実施を判断し、減損損失 2,040 百万円を特別損失として計上することといたしました。

また、一部のソフトウェア資産等につきまして、今後の見通しを勘案し将来の回収可能性を検討した結果、減損処理の実施を判断し、減損損失 129 百万円を特別損失として計上することといたしました。

2. 業績予想の修正について

(1) 平成 27 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	18,200	△810	△770	△920	△80.77
今回修正予想 (B)	19,600	△900	△900	△3,300	△291.88
増減額 (B-A)	1,400	△90	△130	△2,380	—
増減率 (%)	7.7	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 3 月期)	6,340	508	586	403	35.44

(注) 当社は、平成 25 年 10 月 1 日付で普通株式 1 株を 10 株に分割する株式分割を行いました。1 株当たり当期純利益につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し、算定しております。

(2) 修正の理由

連結子会社である日本コロムビア株式会社の配信事業収入、アーティストマネジメント事業収入が予想を上回り、売上高は前回予想から 1,400 百万円増加する見込みであるものの、利益率の高い過年度発売作品の売上減少により同社の利益水準が下がるなどした結果、営業利益は 90 百万円、経常利益は 130 百万円下回る見込みとなりました。

当期純利益につきましては、平成 27 年 1 月 6 日に公表いたしました日本コロムビア株式会社における組織改革関連損失（特別損失）284 百万円の追加計上および平成 27 年 3 月 31 日に公表いたしました日本コロムビア株式会社の孫会社の異動にかかる特別損失 143 百万円の計上に加え、上述の減損損失 2,169 百万円を計上すること等により、前回予想を 2,380 百万円下回る見込みとなりました。なお、経常利益の減少および各特別損失の合計額と連結当期純利益の減少額の差異につきましては、少数株主損失の計上等によるものです。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後様々な要因により実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

以上